授業概要

学校教育においては、子供たちが社会の変化に主体的に対応し、他者と協働して様々な課題を解決していく資質・能力を身に付けることが求められています。本講義では、小・中学校の教諭や管理職として、また、教育行政に関わってきた実務経験を生かし、小・中学校での「総合的な学習の時間」における優れた授業や具体的な実践事例を示しながら、教育方法の基礎的な知識と技術及び学習指導の実際を講義します。また、模擬授業を通して、子供たちの実態に即した「総合的な学習の時間」の授業構成や学習指導と評価について学び、実践的な指導力の基礎を培います。

授業計画

第 1 回	学校教育の目標と教育方法
第 2 回	児童理解と「総合的な学習の時間」の教育計画
第 3 回	「総合的な学習の時間」の目標と内容構成
第 4 回	実践に学ぶ① ～学校における目標及び内容の実際～
第 5 回	「総合的な学習の時間」の指導計画の作成
第 6 回	実践に学ぶ② ～学校における指導計画の作成の実際～
第 7 回	学習指導と評価 主体的で対話的な学び
第 8 回	「総合的な学習の時間」の学習指導と評価 探求的な学習過程における学び
第 9 回	実践に学ぶ③ ～学校における学習指導の展開と学習評価の実際～
第 10 回	「総合的な学習の時間」の授業と探求的な学び（学習指導案）
第 11 回	模擬授業① ～「総合的な学習の時間」における授業の導入の工夫～
第 12 回	模擬授業② ～教材教具及び ICT の効果的な活用～
第 13 回	模擬授業③ ～授業における PDCA サイクル～
第 14 回	模擬授業④ ～協同的な学びと小中連携、異学年交流～
第 15 回	模擬授業⑤ ～学習環境の充実と情報発信～
第 16 回	定期試験

到達目標

・「総合的な学習の時間」のねらいと内容構成、指導計画、学習指導と評価、教材教具の作成及び ICT の活用に関する知識を身に付け、子供たちの発達を支援する授業展開が可能な技術を習得することができる。

履修上の注意

- 1 指導計画の作成、学習指導案の作成（次回までの課題がある）を実際に行う。
- 2 全員が模擬授業の準備（教材教具の作成、ICT 活用の実際等）をする。
- 3 毎回、講義終了時にふりかえりのための確認評価テストを実施する。

予習・復習

- 1 講義受講前に、該当の学習指導要領の解説編を熟読し、理解の上授業に出席すること。
- 2 次回提出の課題（講義の予習）を確実に言い、講義に出席すること。

評価方法

レポート課題（指導計画等）及び模擬授業課題（学習指導案・教材教具の作成等を含む）45%
毎時間のふりかえり確認評価テスト30%、定期試験25%

テキスト

- ・教科書名：小学校学習指導要領（平成29年告示）解説「総合的な学習の時間編」
- ・著者名：文部科学省
- ・出版社名：東洋館出版社
- ・出版年（ISBN）：平成29年7月（978-4-491-03468-3）

授業概要

学校教育においては、子供たちが社会の変化に主体的に対応し、他者と協働して様々な課題を解決していく資質・能力を身に付けることが求められています。本講義では、小・中学校の教諭や管理職として、また、教育行政に関わってきた実務経験を生かし、小・中学校での「総合的な学習の時間」における優れた授業や具体的な実践事例を示しながら、教育方法の基礎的な知識と技術及び学習指導の実際を講義します。また、模擬授業を通して、子供たちの実態に即した「総合的な学習の時間」の授業構成や学習指導と評価について学び、実践的な指導力の基礎を培います。

授業計画

第1回	学校教育の目標と教育方法
第2回	生徒理解と「総合的な学習の時間」の教育計画
第3回	「総合的な学習の時間」の目標と内容構成
第4回	実践に学ぶ① ～学校における目標及び内容の実際～
第5回	「総合的な学習の時間」の指導計画の作成
第6回	実践に学ぶ② ～学校における指導計画の作成の実際～
第7回	学習指導と評価 主体的で対話的な学び
第8回	「総合的な学習の時間」の学習指導と評価 探求的な学習過程における学び
第9回	実践に学ぶ③ ～学校における学習指導の展開と学習評価の実際～
第10回	「総合的な学習の時間」の授業と探求的な学び（学習指導案）
第11回	模擬授業① ～「総合的な学習の時間」における授業の導入の工夫～
第12回	模擬授業② ～教材教具及びICTの効果的な活用～
第13回	模擬授業③ ～授業におけるPDCAサイクル～
第14回	模擬授業④ ～協同的な学びと小中連携、異学年交流～
第15回	模擬授業⑤ ～学習環境の充実と情報発信～
第16回	定期試験

到達目標

・「総合的な学習の時間」のねらいと内容構成、指導計画、学習指導と評価、教材教具の作成及びICTの活用に関する知識を身に付け、子供たちの発達を支援する授業展開が可能な技術を習得することができる。

履修上の注意

- 1 指導計画の作成、学習指導案の作成（次回までの課題がある）を実際に行う。
- 2 全員が模擬授業の準備（教材教具の作成、ICT活用の実際等）をする。
- 3 毎回、講義終了時にふりかえりのための確認評価テストを実施する。

予習・復習

- 1 講義受講前に、該当の学習指導要領の解説編を熟読し、理解の上授業に出席すること。
- 2 次回提出の課題（講義の予習）を確実にを行い、講義に出席すること。

評価方法

レポート課題（指導計画等）及び模擬授業課題（学習指導案・教材教具の作成等を含む）45%
毎時間のふりかえり確認評価テスト30%、定期試験25%

テキスト

- ・教科書名：中学校学習指導要領（平成29年告示）解説「総合的な学習の時間編」
- ・著者名：文部科学省
- ・出版社名：東山書房
- ・出版年（ISBN）：平成29年7月（978-4-8278-1577-1）